

《色彩学貴重書図説》

图书基本信息

书名：《色彩学貴重書図説》

13位ISBN编号：9784841904158

出版时间：2006-4

作者：北畠 耀

页数：104

版权说明：本站所提供下载的PDF图书仅提供预览和简介以及在线试读，请支持正版图书。

更多资源请访问：www.tushu000.com

《色彩学貴重書図説》

内容概要

“色彩文化の歴史的記念碑”あるいは“色彩学三代古典書”と呼ばれる貴重書に、科学史を転換させたニュートンの『光学』（1706）、文豪ゲーテが20年をかけた壮大な著作『色彩論』（1818）、印象派画家から「色のバイブル」と呼ばれた化学者シュブールールの『色の同時対比の法則』（1938）があります。豊かな社会が到来した20世紀には、徐々に色彩計画の重要性が増し「色のものさし」が求められました。このときマンセルは『色表記法』（1905）で画期的な提案を行い、彼が創案したカラースケールは、学問分野のみならず全産業に大きく貢献しました。本書では、上記4人の著書の図説を中心に、主に16世紀から今日までの色彩学の発展に貢献した重要な書籍を図説で解説。色彩研究史年表も充実させました。

《色彩学貴重書図説》

书籍目录

《色彩学貴重書図説》

版权说明

本站所提供下载的PDF图书仅提供预览和简介，请支持正版图书。

更多资源请访问:www.tushu000.com